

# 奈良オープンでプロ初V

## 山本大雅選手



プロ初優勝を飾った山本選手(2022年12月、城陽市役所で)

**14番から4連続バーディー**  
**「常に上位」目指し飛躍**  
**城陽オレシジが巣立った「有望株」**

地元名城陽オレシジクラブ一寺田大川原で基礎を培い、プロの世界へ羽ばたいた男子プロ・山本大雅(たいが)選手(28)が今月13、14日に奈良県山添村のオークモンゴルフクラブで開催された第29回奈良オープンゴルフ選手権大会で見事、初優勝を成し遂げた。2日間の地方大会ではあるが、最終日は14番から4連続バーディーを決めるなど、得意のアプローチとパットが冴えわたり、初の栄冠を勝ち取った。

山本選手は、中学そして、松山英樹プロも在籍した東北福祉大学へ。4回生だっをクリアしなければ、2022年9月に北める城陽オレシジゴルフにはほぼ毎日、京都市伏見区の実家から電車を通い、技術を培った。師匠である林照康プロ「城陽市在住」から「厳しい環境ですぐ家に帰れないどころが良い」とアドバイスされ、宮城県の名門・東北高校に進学。

ただ、プロの世界は厳しく男子ツアーに付けた山本選手は、最終日は前半のシード権を得るに及ばず、この過酷な戦いを経て、山本選手はプロ2年目の今シーズンも地方(地区)大会で「爆発力」を磨いている。与えられるPGA男子プロの称号を、余裕の6位タイで獲得した。初日、トップと4打差の8位タイで、プロの世界は厳しく男子ツアーに付けた山本選手は、最終日は前半のシード権を得るに及ばず、この過酷な戦いを経て、山本選手はプロ2年目の今シーズンも地方(地区)大会で「爆発力」を磨いている。



「奈良オープン」を制し、表彰を受ける山本大雅選手(オークモンゴルフクラブ提供)

シ。18番こそグリーンアウトでボギーをクリアし、7月の本選へコマを進めるなど上り調子。「奈良オープン」でのプロ初優勝を受け、山本選手は「ほくが勝てたのも、城陽オレシジの同級生(田中裕真)はじめ、地元の方々のおかげ。どの大会でも)常に上に行く喜びが込み上げ(将来は)テレビで放映される大会に出る。優勝できる。また、今週に入っ14番から17番まで4連続のバーディーラッシュ。3・7・10番でバーディーを奪い終盤はをクリアしなければ、2022年9月に北める城陽オレシジゴルフにはほぼ毎日、京都市伏見区の実家から電車を通い、技術を培った。師匠である林照康プロ「城陽市在住」から「厳しい環境ですぐ家に帰れないどころが良い」とアドバイスされ、宮城県の名門・東北高校に進学。